資料２

彦根愛知犬上地域
新ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価
現況調査結果の中間報告

令和3年12月12日

彦根愛知犬上広域行政組合

本資料に掲載した地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものです。（測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 2JHf 33）。本書に掲載した地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

目次

1.本説明会の目的、
環境影響評価手続きの状況について…… 2

2.環境影響評価の対象とする環境要素…… 6

3.現況調査の実施状況…… 8

4.現況調査結果（中間報告）……10

（1）生活環境項目……11

①環境影響評価対象項目…… 13

②現地調査のみ実施する項目…… 30

③秋季以降に調査に着手する項目…… 33

（2）自然環境項目……37

5.今後の環境影響評価手続きについて……48

1. 本説明会の目的、環境影響評価手続きの状況について

本説明会の目的

本事業は、既存のごみ処理施設である彦根市清掃センター（昭和52年稼働）と、彦根市以外の4町が利用するリバースセンター（平成9年稼働）の2施設の老朽化に伴う建替え工事であり、市内の一般家庭や事業所から排出される一般廃棄物を適正に処理しつつ、ごみの中に含まれる資源を回収すること等を目的とするものです。

本事業の実施においては、事前に環境に及ぼす影響について検討を行い、よりよい事業計画を作り上げていくため、「滋賀県環境影響評価条例」に基づく環境影響評価を実施中です。

本説明会は、その環境影響手続きの中で実施中の環境の現況の調査（現地調査）のうち、春季～夏季の調査結果の概要について、報告を行うものです。

環境影響評価手続きと実施状況

配慮書（実施済み）

事業計画の複数案を対象に、影響の比較・評価、環境保全上の配慮事項等を検討したもの。

・公告・縦覧　：R2.5.7～6.8
・意見書の受付：R2.5.7～6.22

方法書（実施済み）

環境影響評価の対象項目、調査・予測・評価の方法をとりまとめたもの。

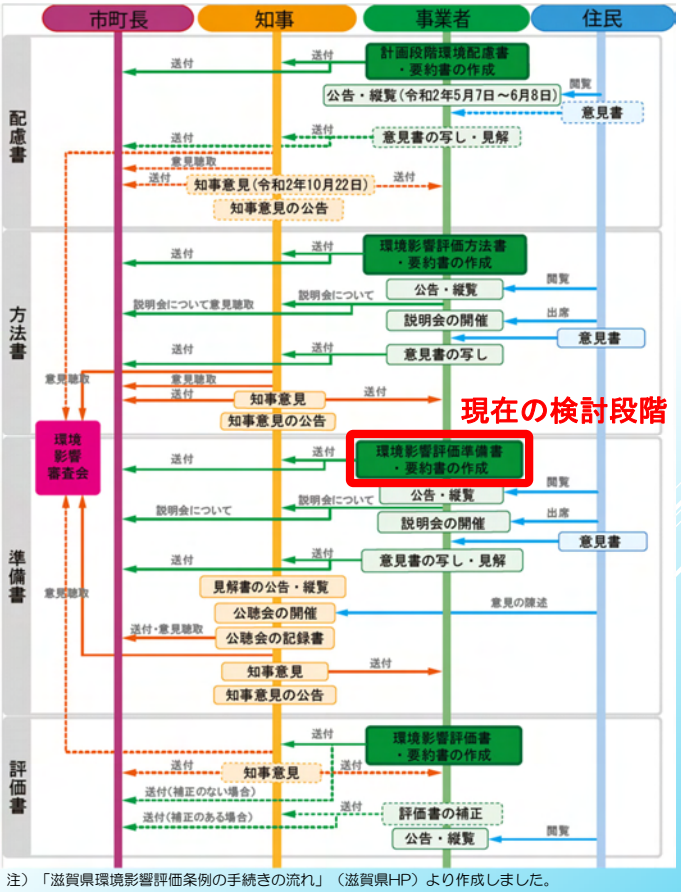
・公告・縦覧　：R2.12.18～R3.1.18
・意見書の受付：R2.12.18～R3.2.1

準備書（現在の検討段階）

方法書およびそれに対する意見等を踏まえ、現況の調査および影響の予測・評価を実施し、その結果をとりまとめるもの。

（※**現在の検討状況は次ページ**参照）

○条例に基づく主要な手続等を示したものです。
○破線の手続きは行われない場合があります。
○事業者が評価書を知事に送付したのち、評価書の補正が不要な場合は、その評価書を事業者から市町長に送付します。
補正が必要な場合は、事業者が補正を行い、知事及び市町長に送付します。



注）「滋賀県環境影響評価条例の手続きの流れ」（滋賀県HP）より作成しました。

環境影響評価（準備書作成）の流れと現在の検討段階

- 環境影響評価では、予め現況の**調査**を行い、その結果を踏まえ、事業を実施した場合の環境影響の**予測**・環境保全措置の検討、**評価**を行い、「準備書」をとりまとめます。
- 現在は、その検討ステップのうち、最初に行う「現況調査」を実施中の段階です。
- 本日は、その調査結果の中間報告を行うものです。

現在の検討段階

調査　予測・評価をするために必要な地域の環境情報を収集するための調査を行います。

（調査の方法）
・既存の資料などを集めて整理する方法
・実際に現地に行って、測定や観察をする方法

予測　事業を実施した結果、環境がどのように変化するのかを予測します。

（予測の方法）
・各種の予測式に基づいて計算する方法
・景観などではモンタージュ写真の作成等の方法

評価　事業を行った場合の環境への影響について検討します。

（評価の内容）
・実行可能な最大限の対策がとられているか。
・環境保全に関する基準、目標等を達成しているか。

出典）「環境アセスメント制度のあらまし」（環境省、令和2年3月改訂）を加工して作成

2. 環境影響評価の対象とする環境要素

環境影響評価の対象とする環境要素

環境要素 ＼ 環境影響要因			現況調査	予測・評価					
				工事の実施			存在・供用		
				土地の改変	重機の稼働	工事用車両の走行	施設の存在	施設の稼働	施設関連車両の走行
生活環境項目	大気質	二酸化硫黄	●					●	
		窒素酸化物	●		●	●		●	●
		浮遊粒子状物質	●		●	●		●	●
		粉じん等	●		●			●	
		その他の物質 注1	●					●	
	騒　音		●		●	●		●	●
	超低周波音		●					●	
	振　動		●		●	●		●	●
	悪　臭		●					●	●
	水　質	水の濁り	●	●					
		水の汚れ 注2	●						
	地下水	水位・流れ 注2	●						
	土　壌	汚　染※注2	●						
自然環境項目	動　物		●	●	●				
	植　物		●	●					
	生態系		●	●	●				
	景　観		●				●		
	人と自然との触れ合いの活動の場		●			●	●		●
	廃棄物等		●	●				●	
	温室効果ガス		●		●	●		●	●
	文化財		●		●	●	●		●
	伝承文化		●		●	●	●		●

注1）「その他の物質」とは、塩化水素、水銀およびその化合物、ダイオキシン類を示します。
注2）「水質（水の汚れ）」、「地下水（水位・流れ）」および「土壌（汚染）」は環境影響評価の対象外とした項目ですが、工事の実施もしくは土地または工作物の存在および供用の時点において、これらの項目に係る環境の変化が確認された場合に本事業との関連性を検証するため、現地調査により現況の把握を行います。

3. 現況調査の実施状況

現況調査の実施状況

項目		年	令和3年											令和4年							
		月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
大気質					●			●			●			●				●		●	
気　象				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●						
騒　音												●									
超低周波音												●									
振　動												●									
悪　臭								●						●							
水　質（水の濁り・汚れ）					●			●		●	●			●							
地下水（水位・流れ）																					
土壌（汚染）																					
動　物	哺乳類					●			●		●				●						
	鳥類					●	●				●				●						
	猛禽類		●	●	●	●	●		●	渡り	渡り				●	●	●	●	●	●	●
	両生類・爬虫類			●		●	●		●		●					●					
	昆虫類					●	●		●		●										
	陸産貝類						●				●										
	魚類					●			●		●				●						
	底生動物					●			●		●				●						
植　物	植物相					●			●		●										
	植生										●										
景　観				●	●			●				●			●						
人と自然との触れ合い								●				●			●			●			
文化財・伝承文化					●		●				●				●						

今回報告対象
（春季～夏季調査結果）

注）現時点での計画であり、変更になる可能性があります。

4. 現況調査結果(中間報告)

(1)生活環境項目

(大気質・気象・騒音・超低周波音・振動・悪臭・水質・地下水・土壌)

調査実施時期（生活環境項目）

環境要素・調査項目			調査時期・頻度	調査期間注
大気質・気象	一般環境	二酸化硫黄･窒素酸化物･浮遊粒子状物質･その他の物質	1週間×4季(春,夏,秋,冬)	春季：令和3年 5月 7日(金)～13日(木)【7日間】 令和3年 5月 8日(土)～14日(金)【7日間】 夏季：令和3年 7月 8日(木)～14日(水)【7日間】
		降下ばいじん	1ヶ月×4季(春,夏,秋,冬)	春季：令和3年 4月14日(水)～ 5月13日(木)【1ヶ月間】 夏季：令和3年 7月 8日(木)～ 8月 6日(金)【1ヶ月間】 令和3年 7月27日(火)～ 8月27日(金)【1ヶ月間】
	道路沿道環境（窒素酸化物･浮遊粒子状物質）		1週間×4季(春,夏,秋,冬)	春季：令和3年 5月 7日(金)～13日(木)【7日間】 夏季：令和3年 7月 8日(木)～14日(水)【7日間】
	気象	地上気象(風向･風速･気温、湿度･日射量･放射収支量)	1年間(1時間値を連続測定)	令和3年 3月 1日(月)～令和4年 2月28日(月)【1年間】
	気象 上層気象	GPSゾンデ観測	7日間(8回/日) ×4季(春,夏,秋,冬)	春季：令和3年 5月 7日(金)～13日(木)【7日間】 夏季：令和3年 7月 8日(木)～14日(水)【7日間】
	気象 上層気象	ドップラーライダー観測	1年間(1時間値を連続測定)	令和3年 3月 1日(月)～令和4年 2月28日(月)【1年間】
	現地拡散実験		7日間(10ケース)×2季(夏,冬)	夏季：令和3年 7月 8日(木)～14日(水)【7日間】
振動・騒音・超低周波音	環境騒音・振動		平日・休日に各1回(24時間)	（令和3年11月実施：今回報告対象外）
	道路沿道騒音・振動			
	交通量			
	地盤卓越振動数			
	超低周波音			
悪臭	特定悪臭物質濃度		2回(夏,冬)	夏季：令和3年 7月14日(水)・19日(月)
	臭気指数			
	気象の状況		1年間(1時間値を連続測定)	令和3年 3月 1日(月)～令和4年 2月28日(月)【1年間】
水質	河川水質	SS･濁度･流量	3回(降雨時)	（令和3年9月より実施：今回報告対象外）
	河川水質	生活環境項目･健康項目等･流量	年4回(生活環境項目) 年2回(健康項目等)	春季：令和3年 4月 9日(金) 夏季：令和3年 7月19日(月)
地下水	地下水の利用の状況（井戸の位置、利用状況、水位等）		地下水の利用の状況を把握できる任意の時期	（令和3年10月より実施：今回報告対象外）
土壌	ダイオキシン類・土壌環境基準項目		1回(任意の時期)	令和3年 7月14日(水)

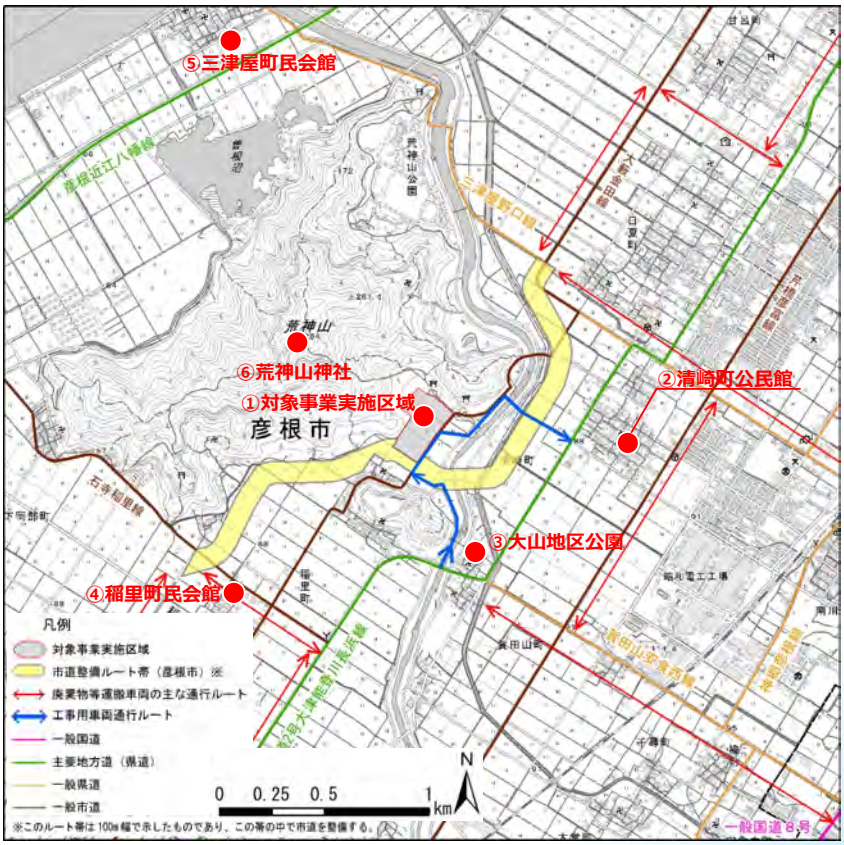
注）一般環境大気質については、一部の地点において停電・降雨等の影響により他地点と異なる調査期間を設定しました。

(1)生活環境項目

①環境影響評価対象項目

（大気質･気象･悪臭･水質）

現地調査結果　大気質（一般環境_春季～夏季）



注）「対象事業実施区域」は新ごみ処理施設整備事業を行う区域であり、建設候補地を示します。

	大気質			騒音等			悪臭	土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境	降下ばいじん	道路沿道環境	環境騒音・超低周波音・振動	道路交通騒音・振動・交通量			
①	●		●		●		●	●	
②		●	●		●		●	●	
③		●	●		●		●	●	
④		●	●		●		●	●	
⑤		●					●	●	
⑥		●	●		●		●	●	
⑦				●		●			
⑧				●		●			
⑨				●		●			
⑩				●		●			
⑪				●		●			
⑫				●		●			
⑬									●
⑭									●
⑮							●		

現地調査結果　大気質（一般環境_春季～夏季）

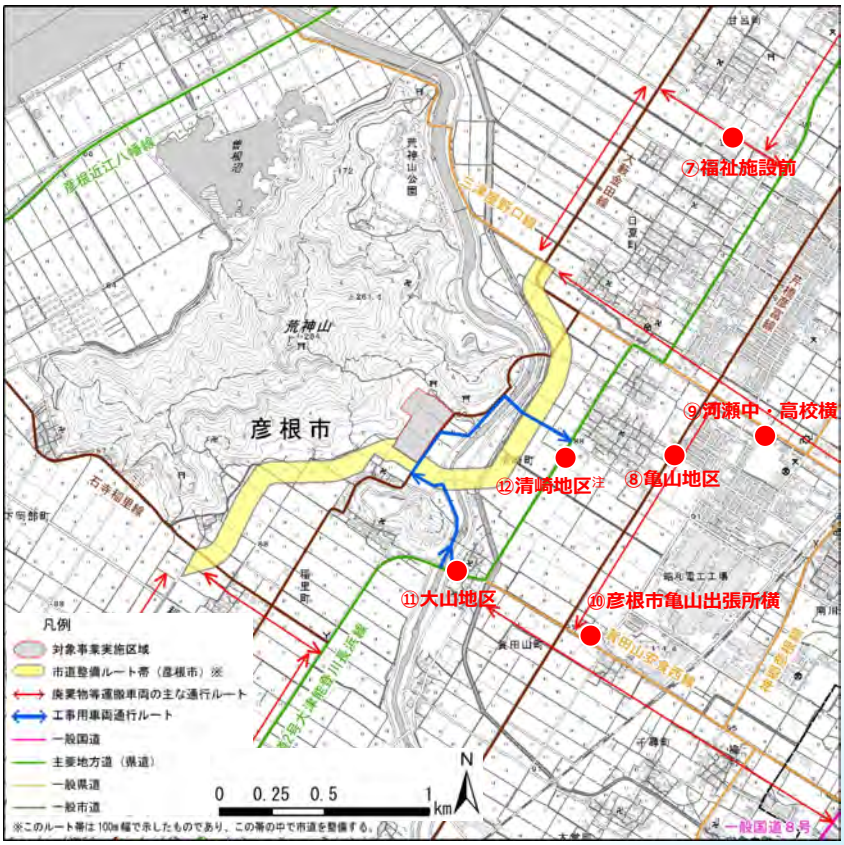
各地点ともに環境保全目標値を下回っていました。

測定地点	時期	二酸化硫黄 期間平均値(ppm)	二酸化硫黄 日平均値の最高値(ppm)	二酸化硫黄 1時間値の最高値(ppm)	二酸化窒素 期間平均値(ppm)	二酸化窒素 日平均値の最高値(ppm)	二酸化窒素 1時間値の最高値(ppm)	降下ばいじん 総量(t/km²/月)
①対象事業実施区域	春季	–						1.76
	夏季							1.13
②清崎町公民館	春季	0.001	0.001	0.002	0.003	0.005	0.011	1.82
	夏季	0.001	0.001	0.002	0.005	0.007	0.010	0.71
③大山地区公園	春季	0.000	0.001	0.002	0.003	0.005	0.012	2.41
	夏季	0.001	0.001	0.002	0.005	0.007	0.010	1.57
④稲里町民会館	春季	0.001	0.001	0.002	0.003	0.005	0.009	2.50
	夏季	0.000	0.001	0.002	0.004	0.007	0.011	0.71
⑤三津屋町民会館	春季	0.000	0.000	0.002	0.004	0.006	0.010	–
	夏季	0.001	0.001	0.003	0.005	0.008	0.012	
⑥荒神山神社	春季	0.000	0.000	0.001	0.003	0.005	0.013	–
	夏季	0.001	0.001	0.002	0.004	0.006	0.013	2.35
環境保全目標値 注		–	0.04	0.1	–	0.04～0.06以下	–	20

測定地点	時期	浮遊粒子状物質 期間平均値(mg/m³)	浮遊粒子状物質 日平均値の最高値(mg/m³)	浮遊粒子状物質 1時間値の最高値(mg/m³)	塩化水素 期間平均値(ppm)	水銀 期間平均値(μgHg/m³)	ダイオキシン類 期間平均値(pg-TEQ/m³)
②清崎町公民館	春季	0.019	0.046	0.092	<0.001	<0.004	0.0081
	夏季	0.016	0.021	0.047	<0.001	<0.004	0.013
③大山地区公園	春季	0.018	0.043	0.087	<0.001	<0.004	0.0075
	夏季	0.018	0.023	0.038	<0.001	<0.004	0.011
④稲里町民会館	春季	0.018	0.046	0.085	<0.001	<0.004	0.0096
	夏季	0.019	0.022	0.037	<0.001	<0.004	0.0096
⑤三津屋町民会館	春季	0.017	0.042	0.089	<0.001	<0.004	0.0064
	夏季	0.017	0.019	0.040	<0.001	<0.004	0.0099
⑥荒神山神社	春季	0.018	0.040	0.076	<0.001	<0.004	0.0092
	夏季	0.016	0.020	0.031	<0.001	<0.004	0.0084
環境保全目標値 注		–	0.10	0.20	0.02	0.04	0.6

注）環境保全目標値はそれぞれ以下の値を示します。
- 二酸化硫黄　：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和48年環境庁告示第25号）に示された環境基準
- 二酸化窒素　：「二酸化窒素に係る環境基準について」（昭和53年環境庁告示第38号）に示された環境基準
- 降下ばいじん　：「スパイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律の施行について」（平成2年環大自84号）にスパイクタイヤ粉じんにおける生活環境の保全が必要な地域の指標として設定された降下ばいじんの参考値
- 浮遊粒子状物質：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和48年環境庁告示第25号）に示された環境基準
- 塩化水素　：「許容濃度に関する委員会勧告」（日本産業衛生学会）に示された労働環境濃度(上限値5ppm)を参考として設定された値
- 水銀　：「今後の有害大気汚染物質対策のあり方について（第七次答申）」（平成15年中環審第143号）に示される年平均の指針値
- ダイオキシン類：「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準」（平成11年環境庁告示第68号）に示された環境基準

大気質（道路沿道環境_春季～夏季）



	大気質				騒音等		悪臭	土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境	降下ばいじん	道路沿道環境	環境騒音・超低周波音・振動	道路交通騒音・振動・交通量			
①	●		●		●		●	●	
②		●	●		●		●	●	
③		●	●		●		●	●	
④		●	●		●		●	●	
⑤		●					●	●	
⑥		●	●		●		●	●	
⑦				●		●			
⑧				●		●			
⑨				●		●			
⑩				●		●			
⑪				●		●			
⑫				●		●			
⑬									●
⑭									●
⑮							●		

注）⑫清崎地区では、令和3年秋季以降に調査を実施します。

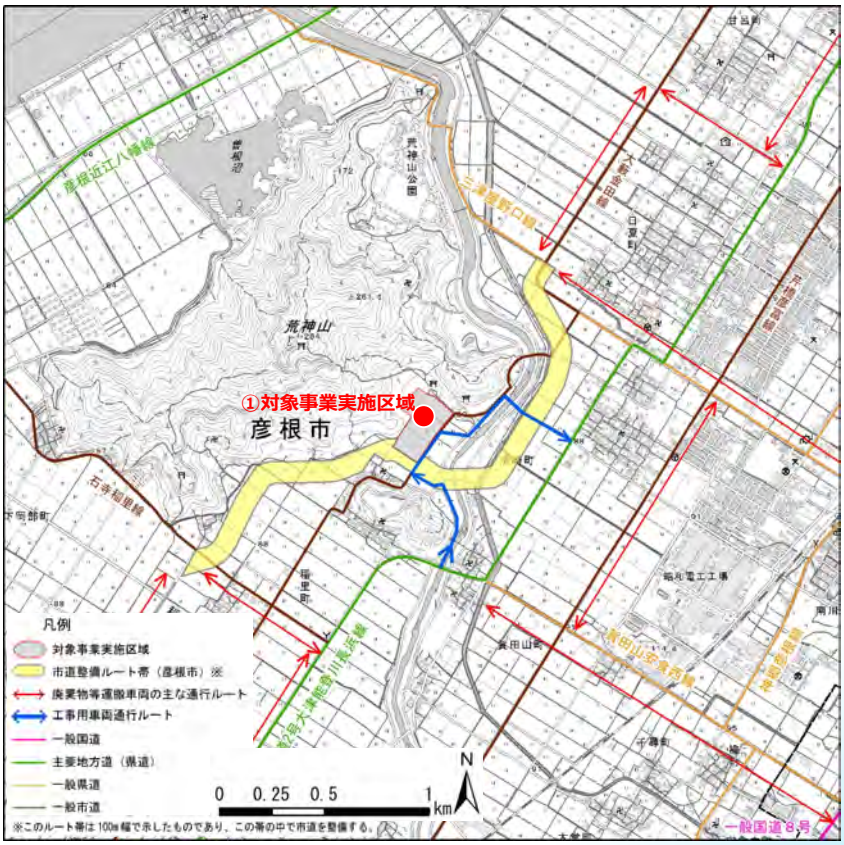
大気質（道路沿道環境_春季～夏季）

各地点ともに環境保全目標値を下回っていました。

測定地点	時期	二酸化窒素			浮遊粒子状物質		
		期間平均値(ppm)	日平均値の最高値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)	期間平均値(mg/m³)	日平均値の最高値(mg/m³)	1時間値の最高値(mg/m³)
⑦荒神山通り（福祉施設前）	春季	0.004	0.005	0.010	0.022	0.049	0.096
	夏季	0.005	0.008	0.011	0.017	0.021	0.035
⑧市道芹橋彦富線（亀山地区）	春季	0.005	0.008	0.017	0.017	0.042	0.095
	夏季	0.005	0.008	0.012	0.013	0.016	0.038
⑨県道賀田山安食西線（彦根市亀山出張所横）	春季	0.006	0.011	0.022	0.023	0.045	0.086
	夏季	0.007	0.010	0.016	0.018	0.023	0.057
⑩県道三津屋野口線（河瀬中学校・高等学校横）	春季	0.005	0.008	0.014	0.019	0.044	0.086
	夏季	0.006	0.009	0.012	0.017	0.019	0.042
⑪県道大津能登川長浜線（大山地区）	春季	0.006	0.010	0.017	0.020	0.043	0.103
	夏季	0.006	0.009	0.013	0.019	0.023	0.043
環境保全目標値 注		–	0.04～0.06以下	–	–	0.10	0.20

注）環境保全目標値はそれぞれ以下の値を示します。
二酸化窒素　　：「二酸化窒素に係る環境基準について」（昭和53年環境庁告示第38号）に示された環境基準
浮遊粒子状物質：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和48年環境庁告示第25号）に示された環境基準

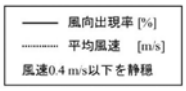
現地調査結果　大気質（地上・上層気象_春季～夏季）

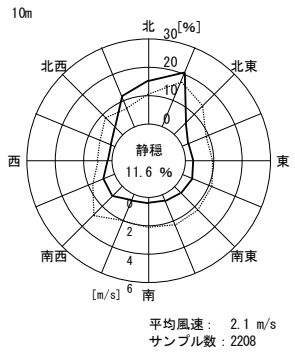
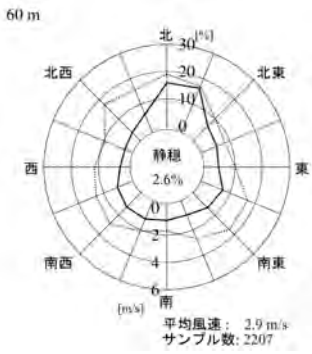
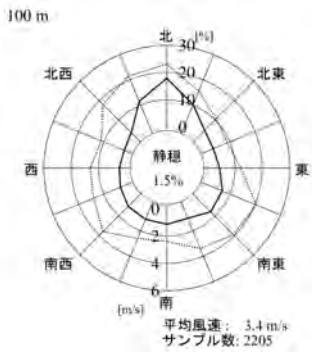
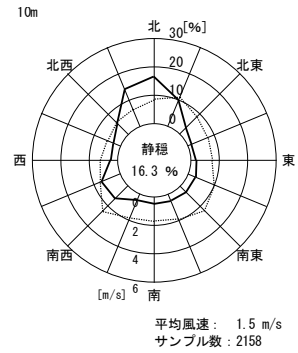
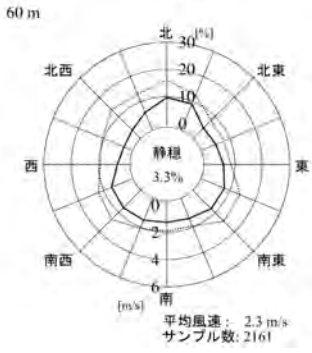
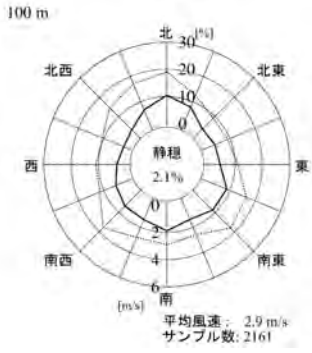


	大気質				騒音等		悪臭	土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・超低周波音・振動	道路交通騒音・振動・交通量			
①	●		●		●		●	●	
②		●	●		●		●	●	
③		●	●		●		●	●	
④		●	●		●		●	●	
⑤		●					●	●	
⑥		●	●		●		●	●	
⑦				●		●			
⑧				●		●			
⑨				●		●			
⑩				●		●			
⑪				●		●			
⑫				●		●			
⑬									●
⑭									●
⑮							●		

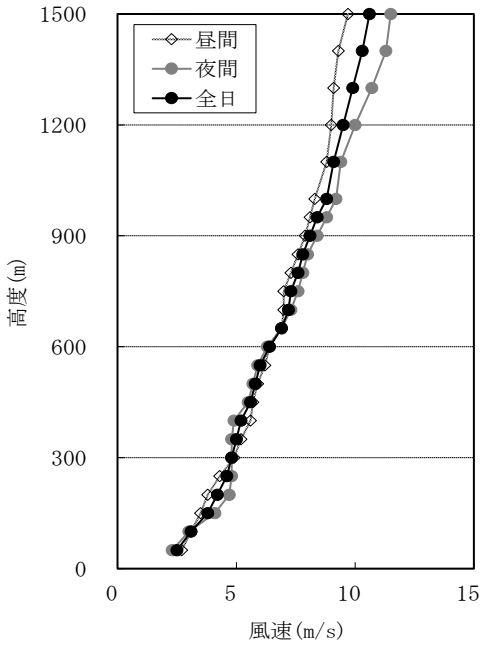
現地調査結果　大気質（地上気象_春季～夏季）

春季はいずれの高さについても、北および北北東の風が卓越していました。
夏季についても概ね同様の傾向が確認されました。

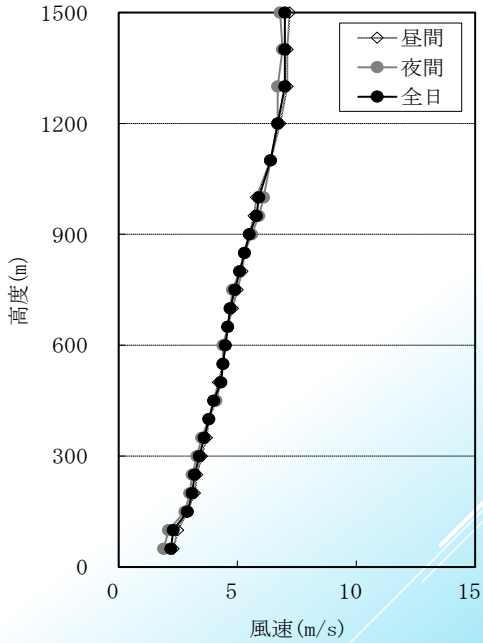


時期	地上10mの風配図	地上60mの風配図	地上100mの風配図
春季 (3/1～5/31)			
夏季 (6/1～8/31)			

上層風速調査結果（風速の鉛直分布）(春季：5/7～13)



上層風速調査結果（風速の鉛直分布）(夏季：7/8～14)



高度が大きくなるほど、風速が大きくなる傾向が確認されました

現地拡散実験の調査方法

実験方法： 想定煙突高度よりトレーサーガスを放出し、風下の捕集点で空気を吸引し、捕集管内に吸着したトレーサーガスを分析しました。

捕集地点： ガス放出地点の風下側30地点程度を選定しました。

現地拡散実験の捕集地点

実験結果

実験番号	日付	採取時間	風向(対象事業実施区域)
夏季①	7月8日	15:00～15:20	南南西
夏季②	7月9日	12:00～12:20	西南西
夏季③	7月9日	18:00～18:20	南南西
夏季④	7月10日	12:00～12:20	西南西
夏季⑤	7月10日	15:00～15:20	南西
夏季⑥	7月10日	18:00～18:20	西南西
夏季⑦	7月11日	12:00～12:20	北北西
夏季⑧	7月13日	12:00～12:20	南西
夏季⑨	7月13日	15:00～15:20	西
夏季⑩	7月14日	12:00～12:20	西

煙突排ガスによる影響

- 一般環境地点の調査結果は、環境基準値を十分下回ったほか、環境影響評価配慮書（令和2年5月）における大気質濃度予測に用いた現況濃度（既存の大気測定局等における調査結果）を概ね下回っていました。
- 対象事業実施区域周辺の大気質調査結果の傾向や、処理対象ごみ量の計画より、大気質濃度が環境基準値を超過するおそれは小さいと考えています。
- 引き続き四季の調査を行うとともに、詳細な予測計算等による推定を行います。その結果は、今後の環境影響評価手続きでお示ししてまいります。

配慮書の予測

現況濃度【実測】

既存測定局等の濃度

物質	単位	濃度（年平均）
二酸化硫黄	ppm	0.002
二酸化窒素	ppm	0.007
浮遊粒子状物質	mg/m³	0.018
ダイオキシン類	pg-TEQ/m³	0.012

＋ **施設の寄与濃度【推定】** ➡ **供用時の濃度【推定】**

＋ 同程度の規模を有する他施設の諸元等より推定 ➡ 環境基準値を下回る見込み

今後行う予測（準備書に掲載）

今回調査：配慮書予測時より概ね下回る

物質	単位	濃度（年平均）
二酸化硫黄	ppm	0.000～0.001
二酸化窒素	ppm	0.003～0.005
浮遊粒子状物質	mg/m³	0.016～0.019
ダイオキシン類	pg-TEQ/m³	0.0064～0.013

＋ 計画施設の諸元等より推定 ➡ 環境基準値を下回る見込み

施設関係車両の走行に係る影響

- 沿道環境地点の調査結果は、環境基準値を十分下回っていました。
- 施設供用後には、周辺道路でごみ収集車等の施設関係車両が走行しますが、自動車の性能向上により、走行時の排ガスの排出量は低減する傾向にあるため、大気質濃度が環境基準値を超過するおそれは小さいと考えています。
- 引き続き四季の調査を行うとともに、詳細な予測計算等による推定を行います。その結果は、今後の環境影響評価手続きでお示ししてまいります。

現況濃度【実測】

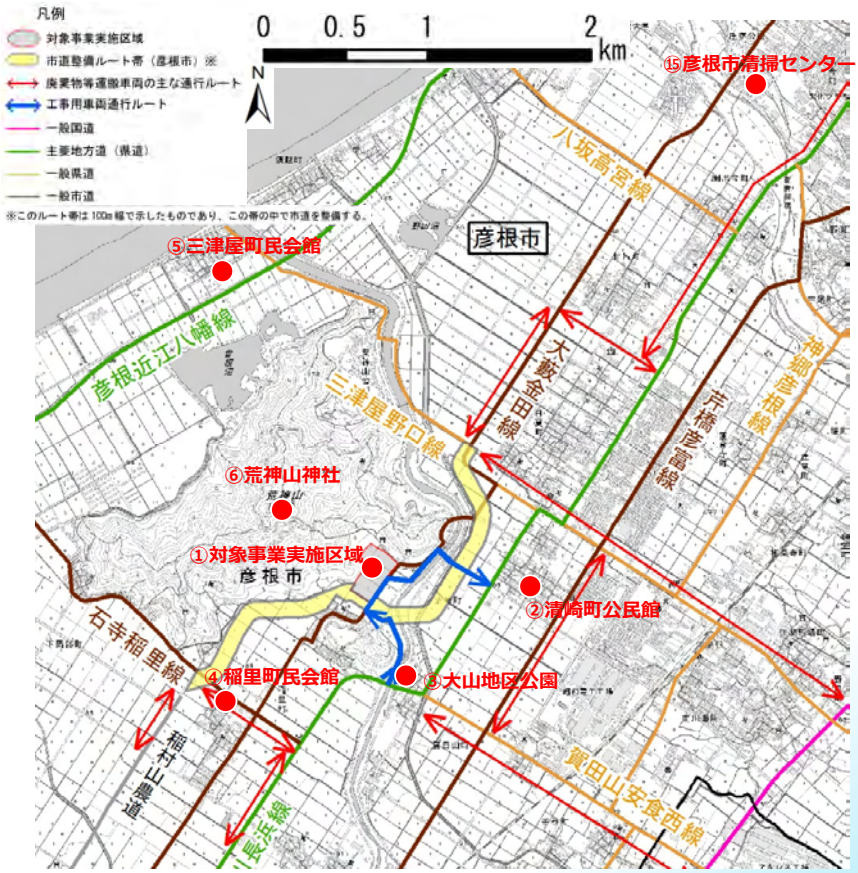
今回調査：環境基準値を十分下回る

物質	単位	濃度（年平均）
二酸化窒素	ppm	0.004～0.007
浮遊粒子状物質	mg/m³	0.013～0.022

＋ **車両の寄与濃度【推定】** ➡ **供用時の濃度【推定】**

＋ 関係車両の台数等より推定 ➡ 環境基準値を下回る見込み

現地調査結果　悪臭（夏季）



	大気質				騒音等		悪臭	土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・超低周波音・振動	道路交通騒音・振動・交通量			
①	●		●		●		●	●	
②		●	●		●		●	●	
③		●	●		●		●	●	
④		●	●		●		●	●	
⑤		●					●	●	
⑥		●	●		●		●	●	
⑦				●		●			
⑧				●		●			
⑨				●		●			
⑩				●		●			
⑪				●		●			
⑫				●		●			
⑬									●
⑭									●
⑮							●		

現地調査結果　悪臭（夏季）

各地点ともに環境保全目標値を下回っていました。

項目		単位	地点注1 ①対象事業実施区域	②清崎町公民館	③大山地区公園	④稲里町民会館	⑤三津屋町民会館	⑥荒神山神社	環境保全目標値注2
特定悪臭物質	アンモニア	ppm	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.1	1
	メチルメルカプタン	ppm	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
	硫化水素	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
	硫化メチル	ppm	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
	二硫化メチル	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009
	トリメチルアミン	ppm	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
	アセトアルデヒド	ppm	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
	ﾌﾟﾛﾋﾟｵﾝｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ppm	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05
	ﾉﾙﾏﾙﾌﾞﾁﾙｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009
	ｲｿﾌﾞﾁﾙｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ppm	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
	ﾉﾙﾏﾙﾊﾞﾚﾙｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ppm	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009
	ｲｿﾊﾞﾚﾙｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	ppm	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
	イソブタノール	ppm	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	0.9
	酢酸エチル	ppm	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3
	ﾒﾁﾙｲｿﾌﾞﾁﾙｹﾄﾝ	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
	トルエン	ppm	<1	<1	<1	<1	<1	<1	10
	スチレン	ppm	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4
	キシレン	ppm	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
	プロピオン酸	ppm	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03
	ノルマル酪酸	ppm	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.001
	ノルマル吉草酸	ppm	<0.00009	<0.00009	<0.00009	<0.00009	<0.00009	<0.00009	0.0009
	イソ吉草酸	ppm	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.001
臭気指数		-	<10	<10	<10	<10	<10	<10	13

項目	地点注1 ⑭彦根市清掃センター内	⑭彦根市清掃センター 廃棄物運搬車両搬入ルート 道路端	道路端から5m地点	環境保全目標値注2
臭気指数	<10	<10	<10	13

注1）「<」は定量下限値未満であることを示します。
注2）環境保全目標値はそれぞれ以下の値を示します。
特定悪臭物質：彦根市では特定悪臭物質の規制はなされていませんが、参考として悪臭防止法に基づくA区域の基準値を適用し、適合状況を評価しました。
臭気指数　：彦根市では臭気指数による規制が行われており、調査地点は第2種地域の規制基準が適用されます。

主な悪臭の影響に係る考察

現況調査結果を踏まえた考察

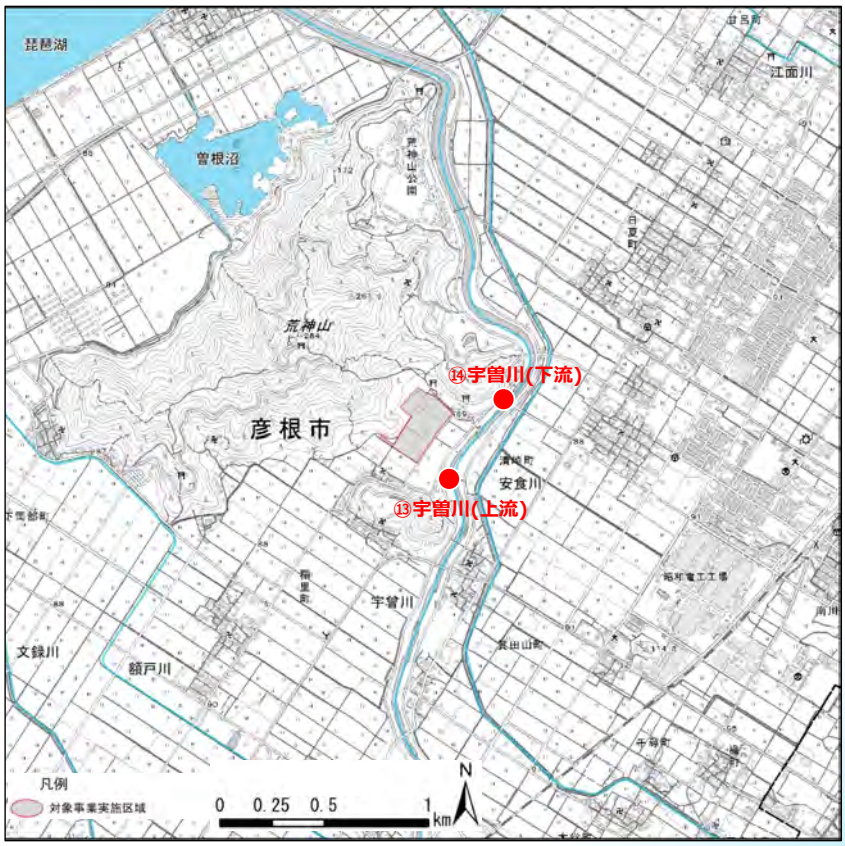
・調査結果より、対象事業実施区域周辺において、
現況で悪臭の影響が生じていないことを確認しました。

・また、既存の彦根市清掃センター周辺の調査結果より、
施設周辺や収集車の走行時に、悪臭の影響が生じていないことを確認しました。

・今後の施設整備においても、適切に環境保全措置を講じることにより、
施設の稼働による悪臭の影響は小さくなるものと考えています。

・今後、煙突排ガスの影響等も含め、詳細な予測計算等による推定を行います。
その結果は、今後の環境影響評価手続きでお示ししてまいります。

水質（春季～夏季）



	大気質				騒音等		悪臭	土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境大気質	降下ばいじん	沿道環境大気質	環境騒音・超低周波音・振動	道路交通騒音・振動・交通量			
①	●		●		●		●	●	
②		●	●		●		●	●	
③		●	●		●		●	●	
④		●	●		●		●	●	
⑤		●					●	●	
⑥		●	●		●		●	●	
⑦				●		●			
⑧				●		●			
⑨				●		●			
⑩				●		●			
⑪				●		●			
⑫				●		●			
⑬									●
⑭									●
⑮							●		

水質（春季～夏季）

主な生活環境項目：各地点ともに環境保全目標値を下回っていました。

項目	単位	⑫宇曽川上流側(百石橋)		⑬宇曽川下流側(新橋)		環境保全目標値 注
		春季	夏季	春季	夏季	
採水日	–	R3.4.9	R3.7.19	R3.4.9	R3.7.19	–
時刻	–	12:41	14:00	11:14	13:00	–
天候	–	晴	晴	晴	晴	–
気温	℃	12.1	33.9	13.0	31.9	–
水温	℃	16.2	26.2	16.0	25.5	–
流量	m^3/s	1.142	2.731	1.078	2.869	–
浮遊物質量(SS)	mg/L	4	5	6	3	25mg/L以下

注）環境保全目標値は「水質汚濁に係る環境基準について」（昭和46年環境庁告示第59 号）に示される環境基準のうちB類型の値を適用しました。（B類型の利用目的の適応性：水道3級、水産2級、工業用水1級、農業用水、環境保全）

主な水質の影響に係る考察

現況調査結果を踏まえた考察

・降雨の発生していない時期の水質調査により、
宇曽川において濁りが発生している様子は見られていません。

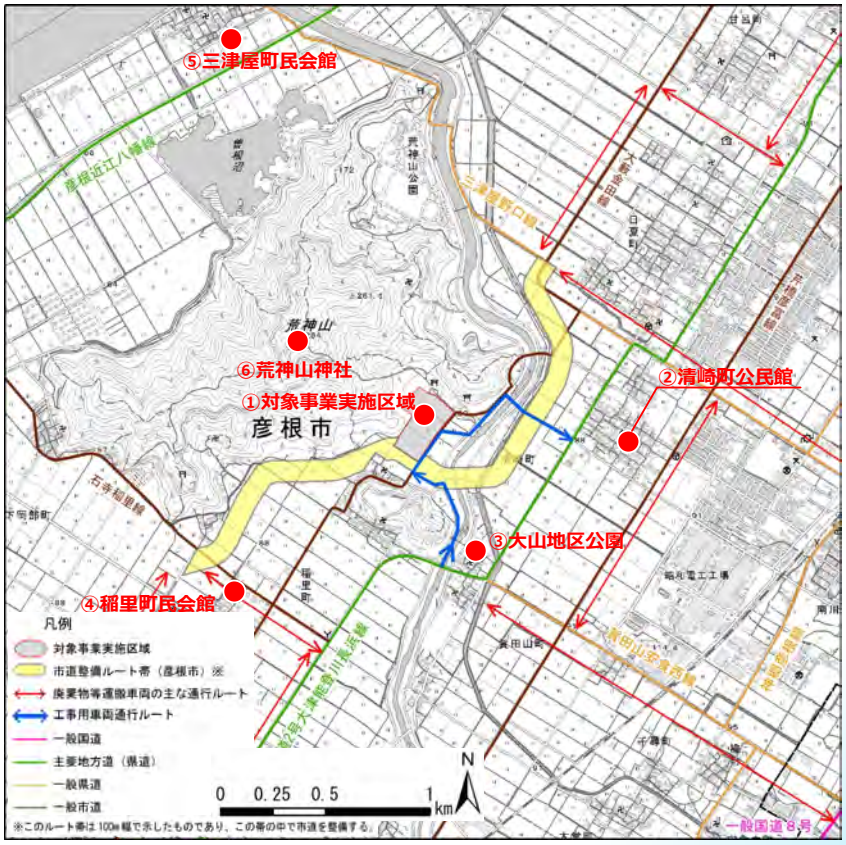
・工事中には対象事業実施区域からの濁水が宇曽川に流入するおそれがありますが、
沈砂池の設置等の環境保全措置を講じることにより、
宇曽川において著しい濁りが生じないように配慮します。

・今後、降雨時の水質調査の実施、環境保全措置の検討を行い、
工事中の宇曽川の水質への影響について、詳細な予測を行います。
その結果は、今後の環境影響評価手続きでお示ししてまいります。

（1）生活環境項目

②現況調査のみ実施する項目
（土壌）

現地調査結果　土壌



土壌中ダイオキシン類：
各地点ともに環境保全目標値を下回っていました。

調査地点	測定値	環境保全目標値
②清崎町公民館	0.15pg-TEQ/g	1,000 pg-TEQ/g 以下
③大山地区公園	9.3pg-TEQ/g	
④稲里町民会館	0.021pg-TEQ/g	
⑤三津屋町民会館	0.31pg-TEQ/g	
⑥荒神山神社	0.22pg-TEQ/g	

注）環境保全目標値は「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準」（平成11年環境庁告示第68号）に示された環境基準を示します。

※①対象事業実施区域の調査結果は取りまとめ中です。今後の説明会等でお示ししてまいります。

現地調査結果　土壌

土壌環境基準項目：各地点ともに環境保全目標値を下回っていました。

項目	単位	②清崎町公民館	③大山地区公園	④稲里町民会館	⑤三ツ屋町民会館	⑥荒神山神社	環境保全目標値 注1
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと。
有機燐	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	検出されないこと。
鉛	mg/L	0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
六価クロム	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05
砒素 注2	mg/L (mg/kg)	0.002 (0.7)	0.001 (1.3)	0.001 (<0.1)	<0.001 (<0.1)	<0.001 (0.1)	0.01（15）
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005
アルキル水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと。
PCB(ポリ塩化ビフェニル)	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	検出されないこと。
銅 注2	(mg/kg)	(4.1)	(4.6)	(<0.1)	(0.8)	(1.1)	(125)
ジクロロメタン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002
チウラム	mg/L	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006
シマジン	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003
チオベンカルブ	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02
ベンゼン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
セレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01
ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.17	0.8
ほう素	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	1
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05

注1）環境保全目標値は「土壌の汚染に係る環境基準について」（平成3年環境庁告示第46号）に示された環境基準を示します。
注2）（　）内の値は土壌1kg中の含有量、その他は検液1L中における溶出量の値を示します。
注3）「<」は定量下限値未満であることを示します。

（1）生活環境項目

③秋季以降に調査に着手する項目

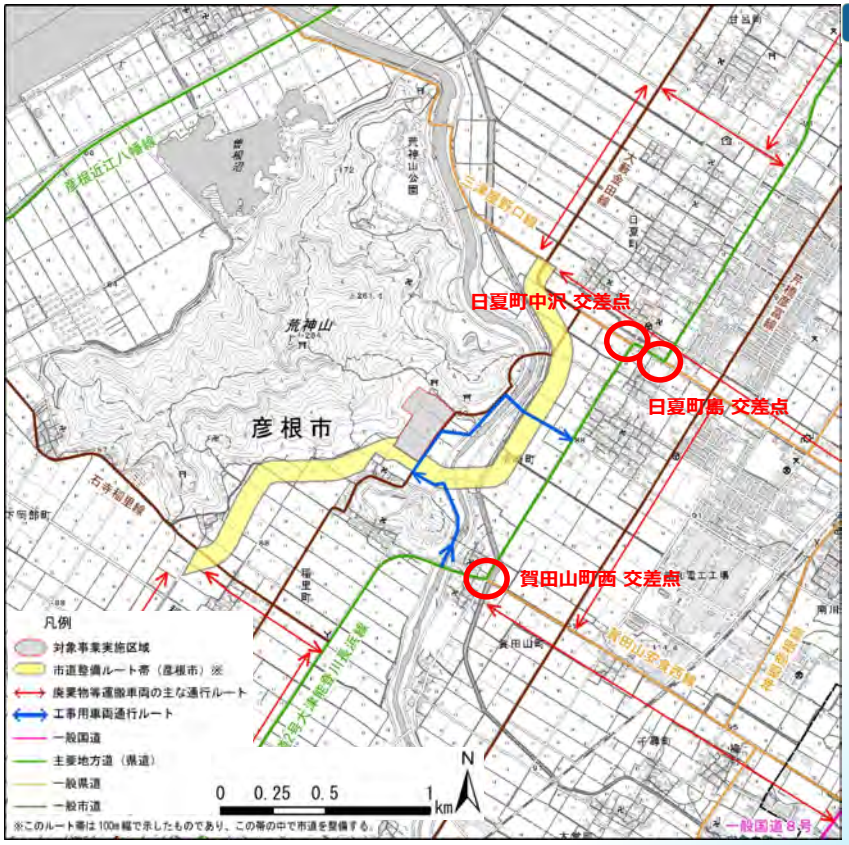
（騒音・超低周波音・振動・地下水）

現地調査結果　騒音・超低周波音・振動・交通量

注）⑫清崎地区では令和3年秋季以降に調査を実施します。

	大気質				騒音等		悪臭	土壌	水質
	地上・上層気象	一般環境	降下ばいじん	道路沿道環境	環境騒音・超低周波音・振動	道路交通騒音・振動・交通量			
①	●		●		●		●	●	
②		●	●		●		●	●	
③		●	●		●		●	●	
④		●	●		●		●	●	
⑤		●					●	●	
⑥		●	●		●		●	●	
⑦				●		●			
⑧				●		●			
⑨				●		●			
⑩				●		●			
⑪				●		●			
⑫				●		●			
⑬									●
⑭									●
⑮							●		

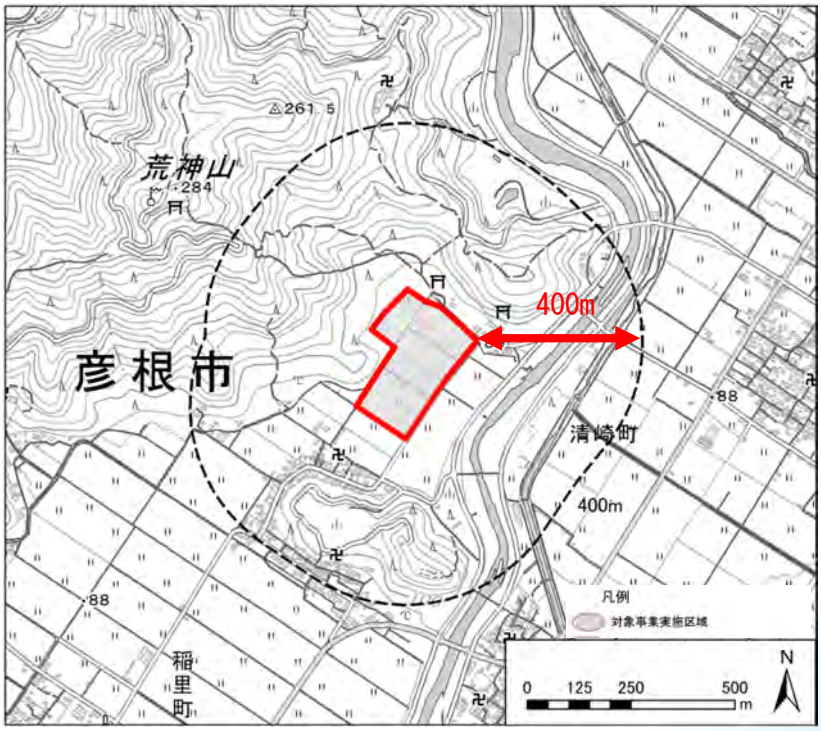
現地調査結果　交通量（県道2号交差点）



交差点交通量調査状況

- 県道2号大津能登川長浜線の3箇所の交差点（日夏町島・日夏町中沢・賀田山町西）の交通状況を把握するため、交通量、滞留長、渋滞長等の調査を行いました。
- 11月の平日に実施しました。

※調査結果は取りまとめ中です。
今後の説明会等でお示ししてまいります。



地下水調査状況

- 対象事業実施区域から概ね400m圏内を対象として、地下水の利用状況（井戸の位置、利用状況、地下水位等）を把握します。
- 令和3年秋～令和4年夏の各季節に調査を実施します。なお、秋の調査は10月に実施しました。

※調査結果は取りまとめ中です。
今後の説明会等でお示ししてまいります。

（2）自然環境項目

（動物・植物・景観・人と自然との触れ合い活動の場・文化財・伝承文化）